

# サンゴの日 イベント報告

“サンゴの日”の3月5日に「未来とサンゴプロジェクト」に協賛する企業とソフトバンク社員と多くの地元ボランティアの方とともに、イベントを実施しました。



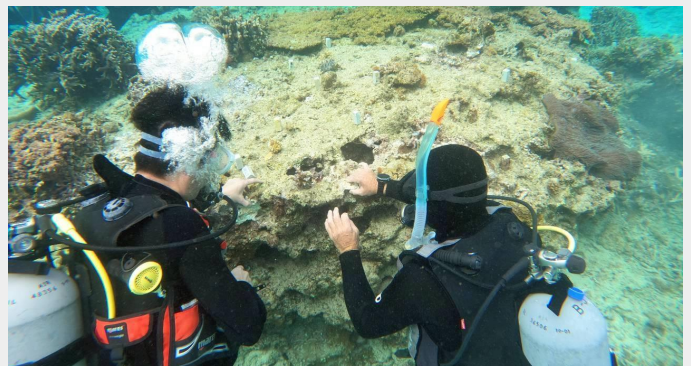
## サンゴ観察・岩盤清掃・苗の植え付け

午前に行われた「未来とサンゴプロジェクト」主催イベントでは、協賛企業および恩納村関係者の皆さまとともに、海に入ってサンゴの様子を確認しました。

また、サンゴの生育環境保全のため、岩盤清掃も実施しました。海中の岩盤に付着した藻類や堆積物を丁寧に取り除くことで、サンゴが健やかに育つ環境づくりに貢献しました。

海水の温度上昇の影響により、多くのサンゴがダメージを受けている現状を目の当たりにしましたが、その中でも力強く生きるサンゴや、その周辺に生息する魚たちの姿も見ることができました。

午後の海域活動では、協賛企業および恩納村関係者の皆さまとともに、350本のサンゴ苗の植え付けを実施し、次世代に美しい海を引き継ぐための大きな一歩となりました。



# Save the Coralプロジェクト

「Save the Coralプロジェクト」とは、「恩納村サンゴの村宣言」のもと、恩納村内外の企業や団体とともに持続可能な自然環境にやさしい地域づくりを目指すプロジェクトです。

今回は、地元ボランティアや沖縄在住のソフトバンク社員も含めた250人が参加し、海沿いの清掃をする「ビーチクリーン」と農地の清掃と植樹を行う「グリーンクリーン」に分かれて活動しました。

ビーチクリーンおよび農地のゴミ拾い活動では、合計1.5トン回収することができました。



植樹活動では、サクラ、シャリンバイ、アセロラ、サルスベリ、クロヨナの苗を合計21本植えました。実は植樹をすることで赤土流出の防止効果を持ち、サンゴ礁を守ることにつながります。



イベント後、参加者からは、

**「漠然としたSDGsではなく、現地を見て、感じて、自ら動く活動として貴重な機会となった」**

**「サンゴ保全活動を直接拝見し、危機的状況をより身近な問題として捉えることができた」**

**「白化の広がりを目の当たりにした一方で、守られたサンゴ礁に生命の力強さと保全活動の意義を強く感じた」**

といったコメントを多数いただき、現地の問題を直視することにより、新たな気づきを得る機会となりました。

2019年に立ち上がった「未来とサンゴプロジェクト」は2026年で7年目を迎えます。

これからも、海洋環境の保全のために、多数の企業・団体と共に、美しい地球の未来を守り、次世代に受け継いでいくために活動を続けてまいります。